

# 1 教育目標

## 1 経営方針

目指す生徒像

**自他を認め、よりよい生き方を求めて自ら動き出す生徒**

校訓

よく学び よく働き よく遊ぶ

教育目標

自立 友愛 創造

### ○よく学び

学ぶ意義を自分で見つけ、そこから自主的な学びを展開することで、学びを深めるとともに、学ぶ楽しさを味わう。(自立)

### ○よく働き

自分のよさや友だちのよさに目を向け、関わり、一緒に活動するなかで、お互いのよさを高める喜びを味わう。(友愛)

### ○よく遊ぶ

学校や家庭、地域のなかで、自分のよさを発揮し、自由と創造の精神をもって活動する喜びを味わう。(創造)

**\*\*渡辺華山先生の教えと伝統、誇りや地域の期待を自覚する。\*\***

学校の指導・支援の基本方針

**よく見て、よく聴き、話し合い、一緒になって考える。**

### 共に考え、共に学ぶ

- 一人一人の意見が大切にされる話し合いの場
- 個に応じた適切な支援
- 各教科、道徳科等を関連させた人権教育の実践
- 主体的に活動する生徒会活動
- 力を合わせ、絆を深める部活動

### 磨き合い、表現する

- 総合的な学習の時間や学校行事で表現し、磨き合う。
- 地域の行事への積極的な参加
- 生徒指導の3機能を生かした自己指導能力の育成

### 自他のよさを認める

- 健康で健やかな心と体
- 規律と思いやりのある学級
- あいさつ・返事・歌声
- 読書・給食・自問清掃
- いじめの未然防止と情報モラルの徹底

確かな専門性とチームとしての組織力を備えた教師集団

- 生徒一人一人のよさに目を向けた生徒理解と、そのよさを生かした学級・学年・学校経営に努める。
- 生徒指導や教育支援などは学級、学年の枠を超え、情報共有しながらチームとして対策にあたる。
- 生徒にとって分かりやすい授業ができるよう、授業力の向上を図る。
- 「他人の立場に立つ想像力」や「コミュニケーションの技能」「人間関係を調整する能力」の育成を目標に、人権教育の研究に取り組む。
- 地域に根ざした学校であるという認識のもと、家庭（保護者）や地域との連携に努める。
- 業務の適正化や諸会議の効率的な運営により、多忙化・多忙感の解消に努める。